

平成 27 年度

花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

平成 27 年 10 月 花巻市

目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-1 農林業の振興	1 農業生産の支援	しごと	1
	3 生産基盤の整備		4
1-2 工業の振興	2 事業分野の拡大		8
1-3 商業の振興	2 商店街の再生		11
2-2 生活基盤の充実	1 道路環境の充実	暮らし	14
	6 汚水の適切な処理		16
2-3 防災危機管理体制の充実	1 危機管理体制の強化		19
	2 自然災害対策の強化		21
3-5 芸術文化の振興	1 芸術文化活動の推進	人づくり・ 地域づくり	23
	2 先人の顕彰		26
4-1 地域主体のまちづくり	1 地域づくりへの参加促進		28
	2 コミュニティ会議の基盤強化		31
行政評価全般に対する評価について		全部会	34

施策名：農業生産の支援

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 <p>成果指標の達成状況についての確かな分析を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →不足している、成果指標も見直しが必要である、という評価になった。まず前者について、目指す姿は農畜産物に言及しているが、成果指標は栽培面積のみで、畜産物についての飼育目標等がない。次に後者について、花巻市の農畜産物である米穀、雑穀、野菜、果物、花き、菌茸、特産物は作付面積の増大が収益に反映するので、品種ごとに作付面積の目標を設定するという形で見直す、あるいは、目標値はすべての作物の合計面積のままでもいいが、実績値については米系、穀物、野菜の三種類に分けて示すという形で見直す、さらに、事務事業のなかで直結度Aの成果が成果指標に反映される形で、「青果物出荷販売額」（ここから振興作物部門を抽出）、「農畜産物販売高」を加える形で見直す（こうすることで、政策の成果指標「農業者1人当たりの農業者所得金額」との整合性がはかれる）、という指摘があった。 目標値の設定は適切か。 →上記の点を含めて見直す必要があると評価した。 他に考えられる指標はないか。 →上述の通りである。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の中期プランの見直し（第2期中期プラン）に合わせ、以下のとおり見直しを行います。 <ol style="list-style-type: none"> 成果指標の項目について <ol style="list-style-type: none"> 成果指標への項目の追加 畜産物の飼育頭数(牛、豚)を新規追加で検討します。 なお、ご指摘のありました「青果物出荷販売額」と「農畜産物販売高」につきましては、政策レベルの指標と考えますので、本施策での追加とせず、政策の指標として検討します。 成果指標の見直し 振興作物の栽培面積の実績値について内訳として米穀類、野菜、果樹、花きを区分し振興作物名も表示します。 目標値の設定について 上記1のとおり。 他に考えられる指標について 上記1のとおり。 	<p>農林部 農政課</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 <p>→確かに「振興作物の栽培面積」の増加については素晴らしく順調に見えてしまうが、その上位三品目は、ヒアリングによると、米粉米、加工米、備蓄米である。やはり、すでに述べたように、成果指標が一つでは不足であり、その上での達成状況の分析は、きわめて不十分とならざるを得ない、と考える。</p>	<p>4. 成果指標の達成状況の分析について 上記1の②のとおり、成果指標の達成状況の記載方法について修正します。</p>	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→沢山の事業を示されていることは素晴らしいことであるが、成果指標に対して多すぎて論点が不明瞭になるのではないか、という評価になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿の実現に貢献している事業か <p>→13事業のうち7つの事業がC評価となっていること（これらの事業の向上を図ること）、直結度Cの事業に必要性があるのか、という指摘があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 <p>→上述のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→担い手の育成支援事業が必要と考えられる。</p>	<p>1. 施策を構成する事務事業について 平成28年度の中期プランの見直し（第2期中期プラン）に合わせ、成果指標の追加・見直しと、施策「農業生産の支援」の細分化を含めた「農林業の振興」を構成する施策の整理・見直しを検討します。</p> <p>2. 目指す姿の実現に貢献について 施策の貢献度の直結度について、振興作物の作付拡大には、有害鳥獣の被害軽減、都市農村交流による作付拡大、死亡牛処理円滑化による安心した畜産飼養は手段の一つとなることから直結度を「C」から「B」に修正を行います。</p> <p>3. 市民ニーズ、社会情勢変化による市の関与について 上記1のとおり</p> <p>4. 他に考えられる事業について 施策2として「担い手の育成」として事業を整理しております。</p>	

<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・ 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・ 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p> <p>→ 課題、方向性は適正で、問題はないが、事務事業が多すぎるので新計画策定時に改善されることを望む。</p> <p>→ 振興作物の対象が広範にわたるため、どの作物に重点を置いて施策を推進するかが見えてこない。</p>	<p>・ 平成 28 年度の中期プランの見直し（第 2 期中期プラン）に合わせ、成果指標の追加・見直しと、施策「農業生産の支援」の細分化を含めた「農林業の振興」を構成する施策の整理・見直しを検討します。</p> <p>・ 振興作物の作付面積は、農作物のトレンドや相場、補助金等支援金の状況により経営体が選択・判断し作付けしていることから、現時点では更なる作物の重点化については考えておりません。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・ 施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→ 成果指標の説明は紙面に限りある場合は別紙作成し添付した方が良い。</p> <p>→ 事務事業評価において成果状況についての説明欄があれば良い。</p>	<p>・ 成果指標については、別途「設定根拠シート」を作成しておりますが、今後も参考資料として配付するとともに、資料については、詳細かつ分かりやすい記載に努めてまいります。</p> <p>・ 事務事業評価シートに「成果指標の達成度の要因分析」及び「総合評価」の項目があり、評価内容についてはこの項目に記載しております。なお、施策評価シートの評価内容については、今後も詳細かつ分かりやすい記載に努めてまいります。</p>	

施策名：生産基盤の整備

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →不足している、という評価になった。 目標値の設定は適切か。 →妥当であると評価した。ただし、水田整備率の最終目標値がどの程度なのか、また、地域共同による農業資源管理面積も対象面積の9割近くになっているのではないかと、さらに、現計画は目標を達成しているため目標値の修正が必要ではないかという指摘があった。なお、農業資源管理面積の算出方法がわかりにくいという指摘もあった。 他に考えられる指標はないか。 →事務事業との関連から、草地更新面積、生産性向上を具体的に示す指標が挙げられた。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →妥当であるという評価になった。しかし、現状と課題に対しての適切な説明になっていない、背景・要因の説明に具体的な数値の記載等に不足があるという指摘があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の中長期プランの見直し（第2期中長期プラン）に合わせ、成果指標の見直しを行います。 1)水田整備率の最終目標 水田整備は、地域の合意形成の下に実施していくものであることから、行政が最終目標値を設定するものではないと考えています。ただし、参考として国の政策目標の中に、全農地面積の農地集積を8割に推進するとしていることから、水田整備率の最終目標値は概ね8割程度が妥当と見込まれます。 2)農業資源管理面積 1)平成26年度の実績では目標値を上回っておりますが、平成27年度では増減が発生し変動があることから、目標値は固定しています。 2)面積算出についての考え方は以下のとおりです。 農業資源管理面積＝多面的機能支払協定面積＋中山間地域直接支払協定面積－重複面積 ご指摘を踏まえ、草地更新面積の指標の追加について検討します。 施策評価シートの「成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」を以下のとおり修正します。 	<p>農林部 農村林務課</p>

		<p>○水田整備率 水田整備は、小瀬川、外台、天下田、万丁目地区の4地区に着手しており、分散した小区画農地が大区画（概ね 30a 以上）に整備され大型機械による作業効率の向上が見込まれるよう、各地区の工事が計画的に実施されている。</p> <p>○地域共同による農業資源管理面積 多面的機能支払の取り組む組織が 114 組織、中山間地域直接支払に取り組む組織が 119 となり、特に平成 26 年度から新制度に移行した多面的機能支払の取り組み組織数が 78 から 114 と増加し全体の取り組み面積が大幅に増えたため、農地維持・共同活動等による農地全体の持つ多面的機能が発揮され、農地や周辺環境保全の向上が図られた。</p>	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 <p>→概ね妥当であると判断したが、いくつかの事務事業（番号 2、3）の評価 C は、事業そのものが原因による成果目標未達成ではなく、天候等が要因なので、評価方法を再考することも必要ではないか、という意見があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿の実現に貢献している事業か <p>番号 2 生産施設等整備事業について 事業実施後 3 年後までに販売（生産）量を 5%以上増加させることを目標としているもので、施策の目指す生産性の向上に欠かせない事務事業であり、天候不順や農畜産物の生育状況により実績が左右されることは農業にとって避けられないものであることから、特別な状況等を想定した評価方法としていないものです。</p> <p>番号 3 草地更新事業について 草地の更新による植生改善など生産性の向上に欠かせない事務事業であり、牧草地の土質や形状、畜産農家の他の飼料確保などの状況により草地更新を取りやめ、実績値が目標値を下回る場合もあり得ることから評価方法は現行どおりと考えています。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→評価Cの事務事業（番号2、3）が挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→農林業系副産物処理事業の後継事業、環境保全型農業を市民に周知する事業、が必要と考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NO.2、NO.3の事務事業については、上述したとおり単年度ではなく一定期間の状況により生産性の向上について判断することが必要と考えております。 ・農林業系副産物処理事業は、福島第一原発事故に伴う放射性物質の影響により基準値を超過した農林業系副産物の処理事業であり、一過性の事業で継続される事業ではありません。 ・環境保全型農業を市民に周知することは、本事業の中で更なる周知を図ってまいります。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→課題、方向性が中山間地の棚田に専ら集中しており、施策の対象となっている畑、草地、牧地、環境保全等についての言及が必要ではないか、という意見があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シート「6. 施策の総合的な評価」について、下記のとおり修正いたします。 <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田整備を実施するには、地域の合意形成が基本であり農地集積等を図り、受益者の負担を減らす手法等、中山間地を含めた地元説明を関係機関が連携して行い、地域の事業に対する醸成を支援・誘導する必要がある。 <p>また、整備後の水田の汎用化や農地の環境保全等、畜産農家においては草地更新が可能な環境づくりが必要である。</p> <p>（今後の方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場や牧地等の基盤整備に関して補助事業化、事業負担の軽減、営農等の協議を関係機関と進め、生産コストの低減、生産者所得の向上を図る。 	

<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→シート記載内容だけでは理解しがたいところがあり、その意味で説明が不十分なところがあった。</p>	<p>・シート内容について、今後もわかりやすい記載に努めて参ります。</p>	
--	--	--	--

施策名：事業分野の拡大

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →成果指標について二つの要素（成長分野に参入した企業、プロジェクトマネージャー派遣）を一つにまとめたことは不適切である、また成果指標は不足している、という評価になった。なお、目指す姿の表現の一部（新分野や成長分野）が不適切（成長分野で十分）という指摘があった。 ・他に考えられる指標はないか。 →参入した企業の継続案件数、企業ニーズを掘り起こすためにも企業訪問数が挙げられた。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →すでに指摘したように、二つの異なる要素が一体となっているので、別々の成果指標項目として設定するほうが適切な評価ができるのではないかと、という指摘があった。そうすれば、成長分野に参入した企業はA評価、プロジェクトマネージャー派遣はD評価なので、達成度Dという厳しい評価にはならない、さらに背景・要因についても適切な説明があるのではないかと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、二つの要素が一つの成果指標となっていることから、下記のとおり二つの成果指標に分割いたしました。また、成果指標の追加や「施策の目指す姿」については、平成28年度の中期プランの見直し(第2期中期プラン)にあわせて、検討してまいります。 ○市の補助を利用し、成長分野に参入した企業 ○成長分野への参入を目的としてプロジェクトマネージャーの派遣を受けた企業の件数 ・「企業訪問数」については、事務事業の活動指標であることから、「4 施策を構成する事務事業一覧」に1-4として追加します。 ・上記のとおり、成果指標を二つに分割したことから、「3 成果指標の達成状況」について下記のとおり修正します。 <ul style="list-style-type: none"> ・達成度を「D」から「C」に修正 ・達成状況に関する背景・要因について下記のとおり修正 <ul style="list-style-type: none"> ■成果指標「新たに市の支援により成長分野に取り組んだ件数」・・・【 a 】 H24、H26に目標値に達しているものの、目標値に達していない年度がある。 ■成果指標「成長分野への参入を目的としてプロジェクトマネージャーの派遣を受けた企業」・・・【 c 】 プロジェクトマネージャーの利用件数がH25、H26に0件となっている。」 	<p>商工観光部 商工労政課</p>

<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →不足している、という評価になった。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →概ね妥当であると判断したが、事務事業（番号1-1）の評価Cは過小評価ではないか、という意見もあった。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →事務事業番号1-2「成長分野参入促進事業（プロジェクトマネージャー派遣）」は、説明会の開催、企業訪問等を含めて一層向上を図ってほしい事業として挙げられた。 ・他に考えられる事業はないか。 →新規参入企業のアフターフォローする事業が必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「4 施策を構成する事務事業事務事業一覧」に事業内容の説明に不足の点がありましたので、1-3、1-4の事務事業を追加しました。 ・ご指摘を踏まえ、「(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)」に、以下のとおり追記します。 毎年行っている「施策制度説明会」、市内企業の企業訪問等の際に周知を徹底する。 ・ご指摘を踏まえ、「(新たに取り組むべき事業はないか)」に、以下のとおり追記します。 花巻市起業化支援センターにおいて、専門家を含めた適切なフォローを実施する。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →「新分野への参入意欲が低い状況にある」という課題が指摘されているが、問題は、その意欲が低 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、「(今後の方向性)」に、以下のとおり追記します。 	

	<p>い要因を探らねばならない、のではないか。企業ニーズを把握してマッチングをきちんとすべきではないか、さらに、花巻の交通上の地理的優位性や製造業の特性に沿った方向性も考えられるのではないか、という指摘があった。</p>	<p>毎年行っている企業訪問結果により市内企業の参入意欲が低い状況や企業ニーズを分析し、企業の特性と当市の特性を生かした成長分野への参入促進に努める。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：商店街の再生

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →不足している、という評価になった。 他に考えられる指標はないか。 →イベント来場者数（事務事業の成果指標の一つとして設定されている）、自動車の乗入数が挙げられた。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →a、bのいずれについても、一般的な分析で、四地域（花巻、大迫、石鳥谷、東和）毎の要因分析が不足していること、商店街の能動性に対する分析が不足していることが指摘された。なお、達成度Cの評価について、厳しすぎるのではないかという意見もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の中期プランの見直し（第2期中期プラン）にあわせて、成果指標の追加・見直しを検討します。 平成28年度の中期プランの見直し（第2期中期プラン）にあわせて、成果指標の追加・見直しを検討します。 なお、「自動車の乗入数」については、商店街を通過する車両もあり、また、事務事業により誘導される数値でないことから、成果指標と成り得ないと考えます。 地区毎の商店街関係者等との定期的な意見交換や、商店街関係者を対象とした専門家によるセミナー・ワークショップの開催により、地区毎の地域特性などの背景や交通量の増減等の要因を分析した上で、商店街の意欲ある取組みを支援してまいります。 	<p>商工観光部 商工労政課</p>
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 目指す姿の実現に貢献している事業か。 →概ね妥当であると判断したが、いくつかの事務事業（番号1-2、1-3）の評価Bは過小評価ではないか、という意見もあった。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →事務事業番号3-1及び3-2の「商店街景観形成事業」は四地域の商店街の独自性・特徴を際立たせるためにも一層向上を図ってほしい事業として挙げられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価においては、成果指標の達成度について、「概ね目標値どおり」を「B」と表示しております。 「商店街景観形成事業」は商店街との意見交換を重ね、立地適正化計画や公民連携リノベーションとの連携を含めた新たな仕組み作りを検証します。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→リノベーションに関する事業が必要と考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションに関する事業は、現中期プランにおいては、施策「住宅の安定確保」に掲載しております。ご指摘のとおり、本施策とも関連することから、平成28年度の中期プランの見直しに合わせて、施策の整理・見直しを検討します。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→課題、方向性のいずれについても、一般的な評価で、四地域の商店街毎の要因分析が不十分であることが指摘された。</p> <p>加えて、本施策は、商店街のあるべき姿について、現状維持の施策に過ぎず、現状の改革のプラン（他部局で検討されているようであるが、都市づくりプラン、コンパクトシティ構想）と連携させるべきではないか、街なかの拠点と商店街との連携を模索するべきではないか、という指摘があった。</p> <p>さらに、本施策の方向性について、家賃補助に関する事業の転換がヒアリングの際に述べられていたが、その点の指摘がなかったこと、4地域の商店街の能動性に対する評価が不足していることが指摘された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区毎の商店街関係者等との定期的な意見交換や、商店街関係者を対象とした専門家によるセミナー・ワークショップの開催により、地区毎の地域特性などの背景や交通量の増減等の要因を分析した上で、商店街の意欲ある取組みを支援してまいります。 ・街なかの拠点と商店街との連携については、庁内担当部署・商工会議所と連携し、商店街との意見交換により情報共有を図ってまいります。 ・「(今後の方向性)」に以下のとおり追記します。 <ul style="list-style-type: none"> ・商業形態の多様化を図り魅力ある商店街とするため、商業団体が自ら取組む事業性のある事業への支援を行う。 	

④ シート記載内容について ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。	指摘事項なし		
---	--------	--	--

施策名：道路環境の充実

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 <p>→行っている。ただし、成果指標がパーセンテージである場合、元となる数値データについても記載があった方が良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度実績の市道改良率、舗装率の元となる数値データについて、「3 成果指標の達成状況」の欄に下記のとおり追記いたしました。 平成26年度実績 改良率…改良済延長 1,848,887m /市道実延長 3,308,375m = 55.9% 舗装率…舗装済延長 1,710,040m /市道実延長 3,308,375m = 51.7% 	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<p>指摘事項なし</p>		<p>建設部 道路課</p>

<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>指摘事項なし</p>		
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →「3 成果指標の達成状況」について、「～が考えられる」ではなく「～であった」や「～が要因である」など、表現に工夫があれば良い。</p>	<p>・「3 成果指標の達成状況」の表現を、ご意見を参考に改めました。今後とも、わかりやすい内容になるよう表現を工夫して参ります。</p>	

施策名：汚水の適切な処理

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる指標はないか →水洗化率の中に含まれていると思うが、集合処理区域外の戸別浄化槽の設置について個別に抜き出して成果指標としてもいいのではないか（公共と戸別に分けて）。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →（上記「他に考えられる指標はないか」を受けて）戸別浄化槽設置基数が活動指標としてあり、一つ一つ個別のものを成果指標に挙げてしまうと、膨大な量になってしまう。戸別浄化槽の設置率についても分析したうえで、「3 成果指標の達成状況」を記載することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のありました個別の成果指標につきましては、各事務事業の成果指標と考えられることから、水洗化率等（浄化槽事業にあっては、浄化槽処理区域における汚水衛生処理率）について、次により算定し各事務事業評価シートの成果指標に記載します。 <ul style="list-style-type: none"> ●公共下水道事業＝水洗化人口／整備済区域内人口 ●農業集落排水事業＝水洗化人口／整備済区域内人口 ●浄化槽事業＝浄化槽利用人口／集合処理区域外人口 （集合処理区域外人口＝ 住民基本台帳人口 －公共下水道事業区域人口 －農業集落排水事業区域人口 －コミュニティプラント事業区域人口） ご指摘のとおり、各事業の水洗化率などを分析し、「3 成果指標の達成状況」について下記のとおり修正します。 <ul style="list-style-type: none"> ■成果指標「水洗化率」・・・【達成度 a】 公共下水道事業水洗化率 81.6%（前年比 1.9 ポイント増）、 農業集落排水事業水洗化率 82.6%（前年比 1.2 ポイント増）、 浄化槽設置人口前年比 131 人増（汚水衛生処理率 54.3%（前年度比 1.6 ポイント増））などにより、全体の水洗化率は 84.1%（前年度比 1.5 ポイント増）となった。また、公共下水道事業にあっては、整備済区域が拡大している一方で整備済区域内人口が前年比 349 人減、農業集落排水事業整備済区域内人口が 218 人の減となったことも指標実績値の増加要因である。 	<p>建設部 下水道課</p>

<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 <p>→整備という観点から水洗化促進事業の直結度を C としているのであれば、浄化槽事業やし尿処理事業の直結度も A ではなく C となるのではないかと判断基準が定まっていらないように思える。また、直結度が C という事務事業はどうなのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水洗化推進事業の直結度は、公共下水道事業などの整備事業を補完して成果指標を向上させる事業であることから直結度を「C」から「B」に変更します。 ・し尿処理事業は、水洗化率を成果指標としている本施策に直接関係無いですが、汚水の適切な処理を保管するものであることから、直結度を「A」から「C」に変更します。なお、本事業は、本施策への直結度が低いものの、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に義務付けられた事業であることから、今後も継続実施してまいります。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<p>指摘事項なし</p>		
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 <p>→「中期プランの中にこのような項目があるから、この事業を行う必要がある」というように、説明をもう少し増やしてほしい。説明が足りないように感じられる。目指す姿や現状、課題の欄は特にわかりやすく記載してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績」欄に下記のとおり追記します。 <p>中期プランの「施策の方向」に掲げた次の項目を着実に実行し、汚水処理施設の整備、機能維持及び水洗化の推進を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合計画中期プラン」欄は、平成26年度策定の中期プランの内容を記載していますので、平成28度の中期プラン見直し 	

	<p>→「②施策を構成する事務事業について」と関連して、下記の意見もあった。</p> <p>「5 施策を構成する事務事業の検証」欄が空欄となっているが、「3 成果指標の達成状況」欄で達成度がBやCとなった理由を分析し、この欄に記載すればいいのではないか。1～5までは事業の振り返りを行い、6に課題の整理・来年度以降への方向性を記載するべきではないか。</p> <p>→今回の施策の目指す姿の「下水利用環境が整っています」だと、下水を再利用して別の用途に変える環境があるように受け取ってしまう。説明が不足しているように思える。</p>	<p>の中で記載方法及び内容について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「5 施策を構成する事務事業の検証」欄は、「3 成果指標の達成状況」の分析及び「4 施策を構成する事務事業一覧」における施策への貢献度成果を踏まえた記載内容とし、下記のとおり追記します。 <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水酸化促進事業については、市全体の水洗化率が目標値を上回っているものの、汚水衛生処理率は76.0%と全国の83.7%を下回っていることから、制度の見直しを含めた促進策を検討する必要がある。 公共下水道事業については、整備が進み中心市街地から周辺地域の整備に移行してきたことから、今後の整備にあたっては、経済性や地域事情などを考慮して整備する必要がある。 浄化槽事業については、現在の市設置型では住宅新築に伴う設置に偏差する傾向にあり、設置基数が目標を大きく下回る結果となっており、また、浄化槽処理区域における汚水衛生処理率も54.3%と低いことから整備促進に向けた取り組みが必要である。 <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な資産管理と汚水処理施設の老朽化への対応を行うとともに効率的な下水道運営を行うため、順次公営企業会計への移行を進める必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> 「総合計画中期プラン」欄は、平成26年度策定の中期プランの内容を記載しているものですので、平成28年度の中期プラン見直しの中で検討します。 	
--	--	--	--

施策名：危機管理体制の強化

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる指標はないか。 <p>→施策の目指す姿の達成状況をより測るために、自主防災組織の結成割合だけでなく、課題と現状を踏まえ、別な成果指標も考えられるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 結成はしたものの防災訓練を実施していない組織もあることから、「自主防災組織や市が実施する訓練の参加者数」など、災害対応力を図るより実践的な指標について、平成28年度の中期プランの見直しに合わせて検討します。 	総合政策部 防災危機 管理課
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→すべての事業において「施策への貢献度 成果」がBまたはCであるため、各事務事業の成果指標の達成度が目標値より高くなるための取り組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる事業はないか。 <p>→今ある事業を更に伸ばしていけばいい。</p> <p>→「6 施策の総合的な評価（今後の方向性）」に、「振興センターに防災倉庫を設置する。」と記載があるが、この防災倉庫設置事業が考えられるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施方法を見直すことにより、成果指標の達成度が目標値より高くなるための取り組みを検討します。 「5 施策を構成する事務事業の検証」の欄の（新たに取り組むべき事業はないか）に以下のとおり追記します。 振興センターへの防災倉庫の設置を検討する。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	指摘事項なし		

<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→概ねわかりやすい記載内容となっているが、定性評価に工夫があるとさらに良い。</p>	<p>・今後の評価においてはよりわかりやすい表現に努めます。</p>	
--	---	------------------------------------	--

施策名：自然災害対策の強化

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる指標はないか。 <p>→施策が複数の課に跨っているため、提案は難しい。中期プランが終了した際に項目の見直しをすればいい。(部会の中では、「危険個所の整備率」を成果指標としてみてはどうかとの意見があった。)行政側で計画を立て直す際に検討してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を参考に、平成28年度の中期プランの見直し(第2期中期プラン)に合わせて、指標の見直しを検討します。 	総合政策部 防災危機 管理課
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 目指す姿の実現に貢献している事業か。 <p>→災害対応型機器機能強化事業(LPGガス災害対応バルク貯槽の設置等)は、施策を実現させるために重要な事業であると考えられるため、更なる向上を期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な災害対応機器補助事業の情報収集に努めるとともに、その導入に向け検討します。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 		

<p>になっているか。</p>	<p>→「6 施策の総合的な評価」の課題欄は、このままの書き方だと、2-3-1 危機管理体制の強化に該当するのではないか。この施策では、「関係自治体との連携状況」や「ハザードマップの周知」という表現が適切なのではないか。</p>	<p>・ご指摘を踏まえ、以下のとおり変更いたします。</p> <p>・ハザードマップを全世帯に配布することにより危険箇所や避難所、災害に関する情報を市民に十分周知する必要がある。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→「4 施策を構成する事務事業一覧」から【3 自然災害防止対策事業】について成果がCとなっているのは、実績が目標に満たなかったからだと思うが、予算化されているのにも関わらず、実績値が0㎡というのはどういうことか。</p> <p>【4 河川排水路改修事業】について事業箇所が16箇所となっているが、事務事業評価シートの活動指標では8件となっているのはどういうことか。</p> <p>記載内容が説明不足のように思える。事務事業評価シートの成果指標の達成度の要因分析欄に記載するなどしてもらえるとわかりやすい。整合性を取れるようにしておいてほしい。</p>	<p>・3 自然災害防止対策事業の実績値0㎡について、及び4 河川排水路改修事業の活動指標8件についての説明を、事務事業評価シートの成果指標の達成度の要因分析欄に記載しました。</p> <p>【3 自然災害防止対策事業】について</p> <p>・岩手県では当初法面保護を400㎡行う予定でしたが、県の事情により用地測量のみ実施したため、施工面積が0㎡となり、事業費による進捗率も目標値を下回った。</p> <p>【4 河川排水路改修事業】について</p> <p>・河川排水路整備事業は16件の整備を進めているが、そのうち工事の発注は8件行い、残り8件は測量設計、用地測量を行ったため、工事発注実績を8件とした。</p>	

施策名：芸術文化活動の推進

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての確かな分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる指標はないか。 <p>→「市民芸術祭」の参加者数・入場者数や、市民アンケートの芸術鑑賞に関する項目（F-3）を「年齢別」で捕捉し、若年層の状況把握を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数は、展示や事業を行う市民団体からの報告に基づいており、各団体も高齢化や人手不足の中、人員を配置して年齢別に入場者をカウントするのは困難と考えます。主観的感覚的に、多くなった少なくなった、などを補足資料として聴取することなどを検討します。 	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→若年層（特に中高生、大学生）の芸術文化に対する興味や関心を掘り起こす取り組みが不足している。一方、「美術普及活動推進事業」（街かど美術館）を無くすのであれば、「萬鉄五郎記念美術館企画展示事業」は、施策 No.3-5-2「先人の顕彰」への移動が妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→「芸術文化推進事業」（文化会館担当）の一般鑑賞事業は、総事業費に入場料収入（入場者数）が伴わないものについて、内容の精査や企画の工夫が必要である。また、「市民芸術祭」の入場者増加策を検討する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みや冬休みには、子どもを対象にした芸術講座を開催しておりますが、他の講座の需要も考慮しつつ若年層向けの芸術文化講座の開催などを検討します。 街かど美術館は民間主体の事業ですが、仮に実施されずに同様の事業がなくなった場合、残りの萬鉄五郎祭への支援については、事業の目的から考えると先人の顕彰分野に関する要素が強いと考えますので、施策の移動を検討します。 一般鑑賞事業（いわゆる文化会館自主事業）については、娯楽的な事業は入館者数が多いですが、そればかり実施するのは「身近な場所で芸術文化に触れる」目的からすると、そぐわないと考えます。音楽関係は入場者が少ない傾向ですが、自衛隊演奏会など無料の場合は入場者が多くなりますので、入場料について配慮しながら、より市民が来館しやすいように検討します。 	<p>生涯学習部 生涯学習 交流課</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→若年層が芸術文化に興味・関心を持ったり、活動に参加しやすくなるための事業が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みや冬休みには、子どもを対象にした芸術講座を開催しておりますが、他の講座の需要も考慮しつつ若年層向けの芸術文化講座の開催などを検討します。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→（今後の方向性）については、若者に対して「周知を図っていく」ことから更に踏み込み、芸術文化活動に「興味・関心を持ってもらう」方法を工夫する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シート「6 施策の総合的な評価」の（今後の方向性）の項目に以下を追記します。 ・子ども向けの芸術文化に関する講座の増設を検討する。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 <p>→【事務事業評価シートに関して】</p> <p>「芸術文化推進事業」（生涯学習交流課担当）の有効性について、「向上余地がある」との評価に対するコメントを読んでも、向上余地がどこにあるのか分からない。</p> <p>「芸術文化促進支援事業」の有効性・効率性・公平性の評価について、○印の評価に対するコメントが、いずれも適切でない。有効性については成果の向上余地がどこにあるのか不明である。効率性・公平性については「要綱に基づいた支出」が</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵美術品の貸出し展示数がまだ少ないことから、向上余地があるとしたもので、事業評価シートを以下のとおり修正します。 <p>【芸術文化推進事業】</p> <p>有効性（成果の向上余地）</p> <p>「身近な場所で気軽に芸術文化に触れることが可能となる市所蔵品の貸出し展示数がまだ少ないことから、成果の向上の余地はある。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主観的ではありますが、参加者数が昨年より減少しているため成果の向上余地があると考えたものです。ご指摘のとおり、「要綱に基づいた支出」が必ずしも効率性・公平性の確保につながるとは限りませんが、効率性・公平性を高める方法としては有効と考えます。ただし、時代に即しつつ市全体の予算を踏まえ 	

	<p>必ずしも効率性・公平性の確保につながるとは限らず、説明として不十分である。</p>	<p>て要綱を再考していくなど検討が必要であり、これらを踏まえて事業評価シートを以下のとおり修正します。</p> <p>【芸術文化促進支援事業】</p> <p>有効性（成果の向上余地） 身近な場所で気軽に文化活動や、その成果の発表ができる市民芸術祭については、主観的ではあるが昨年より参加者が減少しているため成果の向上余地はまだある。</p> <p>効率性（事業費・人件費の削減余地） 花巻市負担金及び補助金交付基準要綱に基づき支出するものであり、一定の基準を定めて効率性を高めているが、団体の芸術文化活動事業内容を見極め、今後は基準要綱の見直しも行っていく。」</p> <p>公平性（受益と負担の適正化余地） 花巻市負担金及び補助金交付基準要綱に基づき支出するものであり、一定の基準を定めて効率性を高めているが、団体の芸術文化活動事業内容を見極め、今後は基準要綱の見直しも行っていく。」</p>	
--	--	---	--

施策名：先人の顕彰

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、「新たな先人の掘り起こし」の課題に関連する指標が必要である。 他に考えられる指標はないか。 →新たな先人の掘り起こしについて、進展状況を把握できる指標が必要である。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →「3成果指標の達成状況」の記述に関して、「先人に関する意識は徐々に高まっている」と「広報活動や展示事業が浸透」の根拠が明確でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえ、アンケートによる「身近な地域の先人について紹介活動や顕彰事業が進んでいると思いますか」などの指標の追加を検討します。 同上 地域の先人に関する顕彰事業等に出席しての主観的な感想と、広報での紹介に対するご意見や問合せを受けての感覚的な判断ですが、施策評価シートの3達成状況に関する背景・要因に追記します。 <p>先人顕彰事業等に出席しての主観的感想として、先人に関する意識は徐々に高まっている。広報活動や展示事業での意見や問合せを受けての感覚的な判断だが意識が浸透してきたと予想。</p>	<p>生涯学習部 生涯学習 交流課</p>
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →後述のように「新たな先人の掘り起こし」の取り組みが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策評価シート「5 施策を構成する事務事業の検証」の（施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか）に、以下のとおり追記します。 生涯学習講座などで先人の紹介もしているが、地域と連携した先人紹介方法などを検討する。 セミナー等の開催については需要も見ながら検討する。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →「先人顕彰推進事業」については、たとえば「県内図書館横断検索システム」のように、市内や県内の各施設に分散している関連の所蔵品や蔵書などを横断的に検索できるデータベースが構築できればのぞましい。このようなデータベースがあれば、一般市民が様々な先人に興味関心を持ち、理解を深める上で、大きな手助けになる。 ・他に考えられる事業はないか。 →上記のデータベース構築に加えて、「新たな先人の掘り起こし」の取り組みとして、現在の事務事業で取り上げられている先人以外の先人を題材とした、子供や一般市民向けのセミナーの開催が考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シート「5 施策を構成する事務事業の検証」の（新たに取り組むべき事業はないか）に、以下のとおり追記します。 ・地域において先人の顕彰や掘り起こしが行われつつあるが、それらを系統だてて紹介する方策を検討する。 ・市内の図書館や施設の資料の連携を検討する。 ・資料のデータベースは先人に限らずに必要なが、事業費とニーズを含めて検討する。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →（今後の方向性）の内容について、「新たな先人を発掘する」や「広報や企画展」の内容を、もう少し具体的に記述すべきである（児童生徒向けの副読本作成や、広報や展示の企画のアイデアなど）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シート「6 施策の総合的な評価、（今後の方向性）」の項目に以下を追記します。 ・地域の先人の遺品、史跡等を地域と協働で再調査しながら、活用を含めた事業構築を図り、生涯学習講座として展開するなど検討する。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：地域づくりへの参加促進

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、現状の指標だけでは不十分であり、指標の追加が必要である。 ・目標値の設定は適切か。 →設定根拠が不明である。「多くの住民の地域づくり参加が実現している」という目指す姿が既に実現できているのであれば、ほぼ現状維持を保つ目標設定は適切と言えるかもしれない。しかし現状では目指す姿が達成されているとは言い難く、目標設定は適切ではない（「他に考えられる指標はないか」も参照）。 ・他に考えられる指標はないか。 →「山の駅・昭和の学校」のリピーターの確保状況を把握できる指標が必要である。なお、成果指標として施設の利用人数を用いるのであれば、単なる利用人数の合計だけでは不十分であり、新規利用の状況やリピーターの定着状況といった、「活動の広がり」の捕捉を意識した設定が必要である。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →分析が十分とは言えない。「振興センター」の利用人数の増加が見られる一方、他方で「地域元気フェスティバル」が取りやめられており、地域づくりを取り巻く状況は、必ずしも一方向にだけ変化している訳ではない。地域づくりの取り組みに関する現状の課題を的確に把握するには、なぜこの 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政やコミュニティ会議、市民がともに地域づくりを進めていくための拠点となる振興センターの利用人数は、地域づくりの充実を図る指標として適切であると考えています。また、少子高齢化や人口減少の進行に伴い、市民の価値観やライフスタイルが多様化し、地域の一体感や相互扶助の意識の希薄化による地域づくり活動の停滞が懸念される中であっても、現在の振興センターの利用人数が維持されることが重要であると考え目標値に設定しています。 ・「山の駅・昭和の学校」は、地域における交流人口の拡大を目指して、旧前田小学校を改修したものでありますが、昭和の学校はNPO法人が運営する一つの施設でありますことから、本施策の指標とすることは適切ではないと考えます。 ・「地域元気フェスティバル」については、コミュニティ会議や市体育協会及び市が組織する実行委員会で実施してまいりましたが、26年度開催後のアンケート結果から、27年度以降は開催しないものと実行委員会で決定したものです。約半数のコミュニティ会議が、継続開催に困難を示したところでありますが、要因の一つには、少子高齢化による選手の選出に無理が 	<p>総合政策部 地域づくり課</p>

	<p>ような複雑な変化が生じているのかについても分析を行う必要がある。</p>	<p>あったものと分析しております。</p>	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →地域づくりの参加促進をはかる直接的な取り組みが不十分である（「地域元気フェスティバル」をやめると、参加促進の取り組みがほとんどなくなってしまふ）。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か）。 →施策評価シートに記載の事務事業一覧のうち、「山の駅・昭和の学校整備事業」と「地域元気フェスティバル開催事業」はいずれも地域づくりと直接関連しており、直結度は「A」が妥当である。 <p>「婚活支援団体助成事業」については、地域づくりの参加を直接促進するものではないため、直結度を「A」とするのは妥当ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →「市民憲章推進事業」は、市民憲章単体で浸透をはかるのではなく、市民歌や市の花・鳥・木とセットで浸透をはかる工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりへの参加の契機となるような事業については、27コミュニティ会議全体が集う「地域元気フェスティバル」のような事業のみであるとは考えておらず、それぞれの地域の中における地域づくりへの参加を図ることが、まずは大切であると考えております。 ・「山の駅・昭和の学校」は、地域における交流人口の拡大を目指して、旧前田小学校を改修したものでありますが、NPO法人が運営する一つの施設であるほか、「地域元気フェスティバル開催事業」も各コミュニティ会議から継続開催に難色を示されていたことから、本施策への直結度に対する評価は現状のものでしたと考えます。 ・当市においても、人口減少が続く状況において、若い方々の地域づくりへの参加促進を図るために、「結婚」は大切な契機であり、そのための一つの支援として「婚活支援団体助成事業」は効果が期待できる事業であり、目指す姿への直結度は大きいと考えます。 ・「市民憲章推進事業」は、現時点においても、市民の皆さんが集う多くの場で、その唱和の際に、花巻市民の歌をともに歌う、あるいは、市民憲章とともに、市の花・鳥・木についても印刷し配布しておりますが、今後さらに、その浸透に努めてまいります。 	

	<p>また、「地域元気フェスティバル」は、「市民参画のきっかけづくり」の目的を考慮すれば、全市のコミュニティ会議を1か所に無理に集める方法ではなく、地域の事情に合わせた開催方法（数か所に分ける）や、若者や子供が参加しやすい開催方法の工夫の余地もあったはずである。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →「地域元気フェスティバル」に代わる、地域づくりへの参加のきっかけづくりとなる取り組みが必要である（上記「成果の向上を図る事業はないか」も参照）。</p>	<p>・「地域元気フェスティバル」につきましては、アンケートにおいて継続開催に困難を示したコミュニティ会議全体のおよそ半数のコミュニティ会議に対し、地域ごとの開催やレクリエーション的種目への切り替えについてもお尋ねしましたが、その3分の2のコミュニティ会議は、そのことに切り替えたとしても、開催には困難を示したことから、継続開催はしないこととしたものです。必ずしも複数のコミュニティ会議が集い事業を行うことだけが、地域づくりへの市民参加のきっかけになるものとは考えておらず、それぞれの地域が自ら地域づくりを行っていくことが何よりも大切であり、市としても支援してまいりたいと考えております。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →（今後の方向性）について、若い世代のファシリテーターやコーディネーターを養成しても、その人が同世代の一般市民と同じ視点で考え・行動できなければ、地域づくりの参加促進にはつながらない可能性がある。一般市民の地域づくりへの参加促進を効果的にはかる方策としては、これらの養成だけでは不十分である。</p>	<p>・コミュニティ会議における最も大きな課題の一つには、人材の掘り起こし、人材育成および若い方々のコミュニティ会議の活動への参加であることが、コミュニティ会議と市との協議の場においても話されております。また、地域づくり交付金の行政区等への配分のみならず、コミュニティ地区全体の課題の解決に向けた話し合いの場が、これからは重要であると考えており、ファシリテーターやコーディネーターの育成は大切であり必要と考えております。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：コミュニティ会議の基盤強化

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、後述のように指標の追加がのぞましい。 ・目標値の設定は適切か。 →目標値は 75%で一定ではなく、少しずつ上げていくのがのぞましい。 ・他に考えられる指標はないか。 →コミュニティ会議における新たな取り組みの状況を把握する指標の追加がのぞましい。 ・成果指標の経年推移についての的確な分析を行っているか。 →施策評価シート「3 成果指標の達成状況」の記述で、「地域での課題解決」の割合の上昇要因が、行政による「地域づくり交付金」の取り組みの成果とされているのは適切ではない。「地域づくり交付金」の配分額が毎年一定額の状況下で課題解決割合が上昇してきているのは、交付金の使い方に慣れてきたことや、与えられた予算で課題解決ができるようになってきたことなど、地域側の取り組みの成果と捉えるのが妥当である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり交付金は、コミュニティ会議が地域内の課題を自ら把握し、解決するために行う諸活動に対して、市が財政的な支援をすることを目的に交付するものです。その用途については地域の自主性を確保する観点からコミュニティ会議において調整いただいておりますが、各種事業の実施するにあたって、市は専任職員を配置して各種相談に応じるなど、コミュニティ会議とともに連携しながら地域づくりに取り組んできたところです。また、目標値に関しては、把握される地域課題の件数が年ごとに増減することや新たな課題も出てくると考えられることから、一定の数値を定めているものです。 ・コミュニティ会議においては、継続して同じ課題に取り組む必要性もあることも想定されることから、コミュニティ会議による新たな取り組みの状況が必ずしも指標に沿うものとは考えてはいたところではあります。 ・「地域での課題解決」の割合の上昇要因が地域づくり交付金によるものであるとともに、地域での取り組みの成果であることはご指摘のとおりであります。 	<p>総合政策部 地域づくり課</p>

<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→過なものはない。ただし、交付金配分やハード整備以外の、ソフト面の支援の取り組みが不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 <p>→現在の事務事業は、当初（8年前）からの時間経過に伴う社会情勢の変化に対応できていない。公民館の集合体を「コミュニティ」とすることの意義や、「振興センター」の目標や位置づけ、あるいは市民の生活保障の観点からの施策や事業の意義など、「地域づくり交付金」の配分やソフト面の支援における市の関与のあり方を、「考え方」のレベルから明確化し見直す必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→「コミュニティ会議」の活動の実効性を上げるには、「振興センター」の目標や位置づけを明確にする必要がある。また、交付金配分後の取り組み結果が不明であり、各地域の取り組みの違いへの目配りが不十分である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→「コミュニティ会議」のソフト面の取り組みに対する支援強化が必要である。特に、若い人や市外からの定住者など、幅広い世代の人達に持続的に関わってもらえるようにする取り組みが考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり交付金が交付されてから8年が経過する中で、コミュニティ会議の中にはハード事業がある程度充実したことから、今後においてはソフト事業の充実を図っていきたいものの、その進め方について困難さを感じているとの意見もあります。そのため、市としても本庁及び各総合支所の地域支援室に配置しております担当職員が相談に応じるなどして、その解決に向けた支援をしてまいりたいと考えております。また、人材育成としての、ファシリテーターやコーディネーターの育成支援も行っております。 <p>また、交付金配分後の取り組み結果が不明との意見に関しましては、本年度から各コミュニティ会議における収支や活動状況を市のホームページや広報に掲載し、市民への周知を図っていくこととしております。</p> <p>28年度からは、振興センターに市の職員を配置せず、代わってコミュニティ会議により、コミュニティ会議の職員を雇用していただき、振興センターは、地域のコミュニティ会議の管理と運営のもと、これまで以上に、地域の地域づくりの活動拠点として、その位置付けを明確にすることと考えております。</p>	
--	--	---	--

<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p> <p>→施策の目指す姿の実現を目指すには、公民館の集合体を「コミュニティ」とすることの意義や、「振興センター」の目標や位置づけ、あるいは市民の生活保障の観点からの施策や事業の意義を明確化する必要がある。現状ではこれらの点が不明確であるため、目指す姿を実現する上で直面している現状の問題点や、今後の課題が明確になっていない。「コミュニティ会議」のソフト面の支援を各地域の取り組みに応じて効果的に行うには、これらの点を明確にする必要がある。</p>	<p>・コミュニティ会議の目的や活動状況等について、市民への周知を今後とも引き続き図ってまいります。また、地域それぞれにある課題が解決できるよう、コミュニティ会議のあり方や地域づくり交付金のありかたについて引き続きコミュニティ会議と協議を行いながら、よりよい地域づくりの仕組みとなるよう制度の構築を進めてまいります。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→「地域づくり交付金」の資料について、配分額の提示だけでは不十分である。配分された額に対してどのような取り組みが行われたのかが分からなければ、「コミュニティ会議」の取り組みの実効性を上げていくための方策を考えることができない。</p> <p>→事務事業評価シートの活動指標のうち、「①コミュニティ会議への交付金交付件数」は、全ての「コミュニティ会議」に交付金を配分しているため、指標としては不要である。</p>	<p>・今後は、地域づくり交付金の配分額の提示とともに、各コミュニティ会議の活動内容についても提示してまいります。</p> <p>・活動指標のうちの「コミュニティ会議への交付金交付件数」は、活動指標の一つとしても捉えることもできると考えておりません。</p>	

行政評価全般に対する評価

評価項目	施策名	指摘事項	市の考え方	担当部課名
評価シートの構成・項目について	共通指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業が多い場合は、大分類・中分類等に分けたほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえ、施策評価シートの改善と、文章のチャート化・図解化について検討します。 	総合政策部 秘書政策課
		<ul style="list-style-type: none"> 各評価シートの文章について、一般市民向けに公開することを考慮すれば、内容の理解を容易にするために、文章のチャート化・図解化がのぞましい。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 今年度本部会で取り上げた他の施策にも共通するが、「成果指標根拠シート」は、当日配布ではなく施策評価シートなどの関連資料と同じタイミングで事前配布するようにすれば、部会の際に成果指標や目標値設定の妥当性の検証に関して、より建設的な議論が可能となるはずである。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、部会での評価が円滑に進行できるよう、評価の参考となる関連資料の事前配付に努めます。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 交付金などの資金配分を伴う事業の評価においては、配分額の提示（インプット）だけでなく、配分に対してどのような取り組みが行われ、どのような成果が出たのか（アウトプット、アウトカム）が分かるようにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 交付金などの資金配分を伴う事業の評価においては、必要に応じて施策評価シートや事務事業評価シートに関連資料を添付するなど、交付金等の交付による取り組みの成果が分かるようにします。 	財務部 財政課

